

災害伝承の取組事例(H28年度) 廿日市市宮島(紅葉谷川)

概要

平成28年11月15日(火)～12月18日(日)
(宮島歴史民俗資料館)

世界遺産をつたえる

厳島神社世界遺産20周年記念事業



12月17日(土)宮島フィールドワーク(紅葉谷川)

- ・広島県の過去の土砂災害
昭和20年枕崎台風の被災状況[紅葉谷川]
平成17年台風14号の被災状況[白糸川]
- ・宮島紅葉谷川「庭園砂防」
- ・昭和20年枕崎台風石碑

宮島フィールドワーク



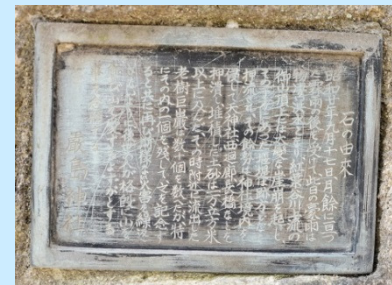
宮島の過去の土砂災害を学ぶ



紅葉谷川「庭園砂防」



昭和20年枕崎台風石碑



世界遺産20周年記念事業
(災害伝承の取組)

県立広島大学 宮島学 フィールドワーク
[宮島の過去の土砂災害を学ぶ]
(新たな語り部の育成)

世界遺産20周年記念事業



土砂災害伝承パネル展



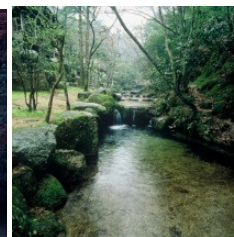
工事誌の展示



昭和20年厳島神社被災状況

紅葉谷川「庭園砂防」

昭和20年枕崎台風の土石流により被災した紅葉谷川は、史蹟名勝地としてふさわしい工事にするため、紅葉谷に堆積した石をそのまま使用し、自然環境に配慮し、美しい庭園を形造って復旧されており「庭園砂防」と呼ばれ、地域や観光客に親しまれている。



岩石公園築造趣意書

1. 巨石、大小の石材は絶対に傷つけず、又、割らない。
野面のまま使用する。
2. 樹木は切らない。
3. コンクリートの面は眼にふれないように野面石で包む。
4. 石材は他地方より運び入れない。現地にあるものを使用する。
5. 庭園師に仕事をしてもらう。いわゆる石屋さんも、
鑿(のみ)と玄翁(げんのう)は使用しない。